月刊 かわごえ環境ネット
2017年1月号 No.123 http://kawagoekankyo.net
2017 年 1 月 1 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

より多くの人が環境活動に親しみを！

新年あけましておめでとうございます。みなさまにとって 2017 年がよい年になることをお祈りいたします。

かわごえ環境ネットは、2000 年 8 月 5 日の設立以来、18 年目となり、そろそろ成人という節目を迎えようとしています。最近は、特に全体事業として展開しているまち美化活動などを通して、理念に掲げている「市民・民間団体・事業者・行政の協働で望ましい環境像の実現をめざす」という姿が見えてきたように思います。

環境活動というと、難しいこと、またはちょっと変わったことと敬遠する方もいると思うのですが、日常の生活でできること、余暇を楽しみながらできることでもあるのです。本会もより多くの人が環境活動に親しみを持ってもらえるようにがんばりますので、ご支援とご協力をほどよろしくお願いいたします。

（かわごえ環境ネット理事長　小瀬博之）

第 15 回かわごえ環境フォーラム

2003 年より毎年 2 月に開催されているかわごえ環境フォーラムを 2 月 25 日（土）にウェスタ川越で開催します。

今回は、午前の部「環境活動報告会」（9:30-12:00, 1 階南公民館講座室 1・2）と午後の部「（仮称）川越市環境行動計画策定記念講演会」（川越市と共催, 13:30-16:30, 1 階多目的ホール C・D）の 2 部構成となります。

午後の部では、「川越の魅力を知る - 雑木林からの発信」という題目で、2017 年 10 月完成予定の映画「武蔵野」を製作している川越市在住の映画監督、原村政樹氏に基調講演していただきます。（詳細 10 面）

目次

コラム	私のエコ体験（7）エコからエシカルへ	2
報告	かわごえ環境ネットの活動（2 題）	3-4
	会員・地域・流域の活動（4 題）	4-8
	理事会・専門委員会（4 題）	8-10
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事（4 題）	10-11
	会員・関係団体の主催・関連行事（7 件）	11-13
	広報委員会からのおしらせ	13
	イベントカレンダー（1 月 1 日～3 月 1 日）	14

【コラム】私のエコ体験（7）エコからエシカルへ

ささやかな「エコ」への努力

地球環境へやさしい「エコ暮らし」は、省エネ第一で、今の季節は「ウォームビズ」で「頭寒足熱生活」を実践しているくらいで、さしたる自慢できることもなく、みなさまの参考になるのが何もなくて辛いところであります。エコ暮らしの指標になる「電気使用量」も人並みで、エコ暮らしの達人らの足元にも及びません。「ごみでは死なない」とはいっても、電気掃除機を始終動かしている同居人？の「クセ」は止められません。また、こちらは、テレビの録画を再生、ニュースだ特集番組だと、「ボケ防止」と言いわけしながらのテレビ漬け？に電気メーターは上がるばかりです。内心忸怩たるものがあります。

周りは「エネルギー過剰消費？」

しかし、家の外の電気の使い方は、個人の節約努力が「無」になりそうな「空しさ」を感じさせます。街頭の自動販売機、きらびやかな広告宣伝、夜間の過剰な照明、さらに自転車まで電動付きが増えると、社会全体の電気使用量削減はますます難しくなりそうと心配しています。さらに自然条件を生かした地産地消型農業は進まず、温室栽培などのエネルギー消費型農業が幅を利かせ、食品ロスが問題になっています。消費でも、食品包装などの廃棄でごみの減量は進んでいません。家庭ごみでも野菜くずなどはほとんどなく、プラスチックの包装類に紙オムツと、昔とすっかり様子が変わりました。

医療・介護の社会的費用の節約は

また、高齢化社会で医療費、介護費用の社会的負担が増しています。これらを削減するために「健康長寿施策」が進められていますが、80 歳過ぎの私から見れば、今の施策では健康で長生きしただけで、医療・介護費用が先送りになるだけだと思います。高齢者がみんな「ピンピンコロリ」となってくれればありがたいのでしょうが、誰も「コロリン」の仕方を教えてくれません。大体の人は「ピンピン」のあとは「グズグズ・ダラダラ」の「老醜」をさらして「早くお迎えが」と念じながらも「何となく生きている」のが高齢化社会の現実だと危惧しています。こんな複合的な諸条件が重なると、次世代やその次の将来がどうなるのか心配であります。

幅広い考え「エコからエシカルへ」

街なかの広告灯が消え、街灯も消えた電力危機を経験しました。集中豪雨や竜巻などの異常気象に、地球温暖化の恐ろしさを予想しながら、その対策は遅々として進みません。パリ協定もその実効性が危ぶまれています。「エコ・エコ」と叫んでも、何かが足りないのかと反省する毎日です。こんな時、「エシカル」という言葉に出会いました。12 月 10 日に、埼玉大学で行われた「第 7 回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉」の分科会で「エシカルと身近になろう」というのがありました。また、『はじめてのエシカル人、自然、未来にやさしい暮らしかた』（末吉里花著）という本が最近出版されました。「フェアートレード」から地球規模の環境問題につながる「今日できる一歩があなたと未来を変える」生き方を、幅広く提言しています。

次世代に負担をかけない「生き方」へ

一時「もったいない」が、環境にやさしい生き方として使われましたが、最近は少し色あせたようで、あまり耳にしなくなりました。この考え方を様々にアレンジして、自然の姿、人間同士のつながりをよりよく次世代につなげる努力が「エシカル（倫理的、道理・節理にかなった）な生きかた」と言えましょう。

この本の中に、近江商人の格言「三方よし」すなわち「売り手・買い手・世間」に「作り手・未来」を加えて「五方よし」を提言しています。日本も、食べ物の作り手「農業よし」へ、未来が明るくなる方策をともに考えたいものです。

高齢者も「グズグズ・ズルズル」の生き方から「ピンピンキラリ」と社会にお礼奉公をし、「ユルリとゆるんでサラッと逝く」次世代に感謝される生き方が求められます。（武田侃蔵）

【報告】かわごえ環境ネットの活動

上戸小学校「わくわくタイム」自然学習プログラム支援報告

雪だるまと記念撮影

木の年輪になった雪の塊

ヘビの抜け殻のお披露目です

11 月 25 日（金）午前、東洋大学川越キャンパス構内において、上戸小学校 4 年生 96 名と先生 3 名プラス校長先生（遅れての参加でした）が、総合学習「わくわくタイム」の活動を行いました。前日は 53 年ぶりの 11 月の「雪」に恵まれ（？）、珍しい観察会となりました。

本会からは小瀬理事長、菅野、賀登、横山、森田の 5 名が参加し、加えて東洋大学学生の津田さんが、一緒に「こもれびの道」や「こもれびの森・里山支援隊」が手入れをしているエリアを観察しました。まずは、大学生の作ってくれた「雪だるま」と記念写真です。この時、子どもたちの靴はすでにぐっしょり。長靴を履いてないので、「冷たーい」の声があがります。雑木林散策は長靴必携、アスファルトの道路では必要ありませんが、舗装されてない道は要注意です。これも経験です。

次に、メタセコイアとヒマラヤスギのタネ探し、続いて学問の樹「カイノキ」の葉っぱを拾います。寒さのためいなくなったと思ったジョロウグモも大きなヒノキの下でかろうじて生きていました。もう一匹カメムシと思ったけど？？？の虫。子どもと一緒だと不思議と虫が現れてくれます。虫も見て欲しいのでしょうかね？

今回、雪の降った後だったので、地面を掘ることができず、落ち葉の下のカブトムシやケバエの幼虫を見つけることができませんでした。しかし、運動場から雑木林に変身しつつあるエリアでフェイクの切り株に乗った雪の塊は、きれいな年輪を作っていて、すてきな自然の贈り物となりました。もう一つ、里山支援隊が栽培中のナメコができていて、しかもスーパーで売っているものの倍近くある大きさになっていて、みんなびっくり。支援隊の活動日に試食とのこと。こんな雑木林の楽しみが子どもたちに伝わったらいいなと思いました。

今回も、最後に見つけたものを発表しました。例年に比べて少なめでしたが、子どもたちは拾い集めた物でいっぱいの袋を持ってニコニコと帰って行きました。　　（横山三枝子）

歳末まち美化活動の報告

2003 年から始まった中心市街地の歳末まち美化活動、14 回目の今年も天皇誕生日 12 月 23 日（金・祝）に実施しました。

当日は 9 時 30 分に本川越駅前交番前に集合、参加者は 51 人（過去最高、昨年は 31 人）、武州ガスの社長と社員ご家族 10 人、東洋大学学生 3 人、市立川越高校の校長と生徒 7 人（川越駅西口に集合）、小江戸大江戸トレニックワールド 4 人など多くの方々が参加しました。

クリーン活動段取り名人の渡辺利衛さんから収集の仕方とコースの説明を受け、集合写真撮影の後、参加者は 9 コースに分かれクリーン活動を開始しました。

参加者はまち美化活動のゼッケンを着け、ご

みを拾いながら、「空き缶・紙くず・たばこなどのポイ捨て止めましょう！」をアピールし、師走の市内中心部を回り、中央公民館でごみの分別作業をおこないました。

その後旧川越織物市場に移動し、中庭で熱いお茶と有志カンパで調達した川越名物の太麺焼きそばを食べ、歓談して解散しました。

なお、川越市立川越高校は、川越駅周辺を地元の人と活動し、生徒ら 7 人で 435 本の吸い殻を拾いました。

ごみ拾いは、まち美化の効果とともに、屈伸や歩行を行うことにより、エクササイズ（exercise 英語で運動の意）の効果もあります。来年もふるって多くの方々のご参加を！！

（歳末まち美化活動担当　菊地三生）

本川越駅前交番横で集合写真

小さなたばこを拾うのは根気がいります

中央公民館でごみ分別作業

旧川越織物市場で太麺焼きそばを

【報告】会員・地域・流域の活動

体験してきました。次世代につなげたい安心&おいしい暮らしのヒント

かわごえ里山イニシアチブ

自身の身体が弱かったことから、自分の健康管理は自分で、そして困っている方の助けになればと看護師になり、20 年以上経ちました。その中で感じたことは、やはり食と環境が大切ということでした。永続循環&自給自足的暮らしにシフトしたいと思い、昨年からずっと納豆を作ってみたいと思っていたのですが思わぬところで叶いました。

11 月 23 日にかわごえ里山イニシアチブの「生きもの育む田んぼ」をご指導いただいている民間稲作研究所に見学に行って参りました。こちらの稲葉光國先生の農法は、生きものや環境にやさしく、例えば、種になるお米の消毒は薬品を一切使わず、ある一定の温度管理と浸ける時

間の掛け合わせで、病害虫に影響を最も受けにくい条件を実証しています。その科学的根拠に基づいた有機稲作は、アジア諸国からも依頼があり、最近はたびたびブータンに渡り指導もされています。

今回は、その稲葉先生のお話を聞いた後に、大豆製品を実際に自分たちで作りました。まず、はじめに興味深いたくさんのお話の中からいくつかをご紹介します。

民間稲作研究所では、有機稲作だけでなく、お米の収穫前後で大豆、麦、菜種などの他の農産物の栽培、加工もすることで、生きものと農産物の多様性、そして循環的な暮らしをめざしています。

例えば、大豆は根粒菌が作物栽培の際に必要な窒素を土に固定します。大豆栽培の後の土地に米を育てると、窒素が多すぎてお米の味が落ちます。しかし成長に栄養を必要とする麦を育てるとよく育ち、麦を育てた後にお米を育てるとよいそうです。

窒素過多の農産物を多く摂ると酸欠状態になる危険性があり、身体の小さい赤ちゃんは特に影響を受けやすく、ブルーベイビー症候群といって命に関わるような状態になることがあります。離乳食を始めるにあたってはぜひ、お母さん方に知っておいていただきたいです。

こちらでは、まだ日本では珍しい古代種スペルト小麦も種取り用に栽培されており、このタイプはグルテンが少なく、小麦アレルギーを起こしにくいそうです。ビールに必須の麦芽やそれを使ったビール作りも始めています。

菜種はグリーンオイルプロジェクトと題して菜種油を作っています。福島県で育てた菜種を、溶剤を使わず、そして 酸化や劣化しないように低温圧搾法で中型の搾油機で搾り、時間をかけてゆっくりていねいに作られている本物志向の油です。放射性物質は、油には移行しないため、このように菜種油を作ることで土地を活用しています。さらに油に加工することで第六次産業を生み出し、菜種の状態より高値で販売が可能です。

前半の座学でこのような暮らしのヒントをたくさん学んだ後は、いよいよ実践のおいしいもの作りです。今回は、その名の通り自然な甘さが魅力の在来大豆サトウイラズで、豆腐、湯葉、納豆・・・を作りました。

納豆は煮沸した稲わらをタッパーに入れ、その上に親指と薬指で摘まんでつぶせる硬さにゆでたサトウイラズを乗せて 40℃で密封せず数日でできます。わらにくるまなくても納豆菌が繁殖しやすい条件を作れば、できるところが思ったより手軽で目からうろこでした。

大豆は、窒素固定することで天然の肥料になるだけでなく、その際に二酸化炭素も削減しマメ科の中でもその量は一番多いとのこと。このように地球温暖化対策にも貢献すると知り、ぜひグリーンカーテンのコンテナや庭先、ベランダなどにみんなで育て、枝豆のうちに収穫したらおうちでビアガーデン！そして大豆にしたものからは豆乳、湯葉、豆腐、納豆そして日本の私たちの生活に欠かせない発酵食品のみそを作れます。おいしいものに変身しながら私たちの健康と暮らしに役立ってくれて温暖化対策にもなる大豆。みんなで育ててみませんか？

地球丸ごと楽しく健康に。かわごえ里山イニシアチブでは現在、お米とマコモダケを育てていますが今後は民間稲作研究所での学びを活かし、作物も生きものもそして人も、多様性を目指しています。

2 月 18 日（土）にはラムサール・ネットワーク日本との共催で「田んぼの 10 年全国集会」をウェスタ川越で開催します。田んぼから広がる食、暮らし、コミュニティーと川越のまちおこしもご提案します。ぜひ遊びに来てくださいね。

（柏井喜代恵）

座学受講風景

実習での使用物品

グリーンオイルプロジェクト搾油機

豆乳から湯葉や豆腐を作る過程

納豆つくり

集合写真

毎木調査　　こもれびの森・里山支援隊（東洋大学小瀬研究室）

識別のためのナンバーテープの貼付

輪尺による直径の測定

紅葉の中での調査でした

12 月 10 日にこもれびの森で毎木調査を行いました。毎木調査とは、1 本 1 本の木の樹種を特定して胸高直径（高さ 1.2m ほどの直径）を測るものです。直径は、輪尺（キャリパーCaliper）と呼ばれる大きなノギス（ノギスはドイツ語 Nonius）で測定し、直径 50cm を超えるものは巻尺（コンベックス）で測定しました。直径が 3cm 以上の木を測定の対象としました。

この調査は、大学において定期的に行われているもので、2013 年 12 月以来 3 年ぶりの調査となります。こもれびの森・里山支援隊が 2014 年に活動を開始してからは初めての調査となり、施業の結果を定量的に把握するための調査となります。

今回は 2 グループで 729 本を測定しました。こもれびの森は、従前の調査では大きく 8 つの工区に分けていますが、そのうち 3 つの工区で測定しました。

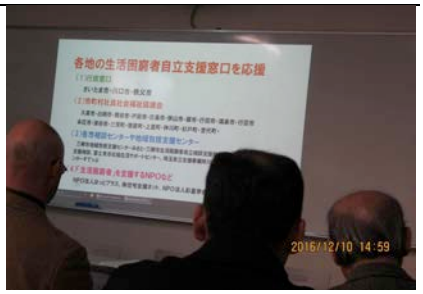
詳しい調査結果は、2 月 25 日（土）にウェスタ川越の南公民館で開催される第 15 回かわご

え環境フォーラムで報告する予定ですが、1 例としてB工区とされている工区での結果を比較すると、2013 年に 530 本あった木は 382 本となり、148 本減少しています。樹種は、現在のところ未整理ですが、主に伐採したシラカシやヒサカキが、このエリアには 2013 年では 123 本あったので、伐採による寄与が大きいものと考えられます。　（小瀬博之）

「第 7 回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉」基調講演と 8 分科会が（12 月 10 日開催）

山口宏樹埼玉大学学長のあいさつ

埼玉大学学生のポスター展示



食品ロスとフードバンク

7 回目を迎えた「低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉」は、埼玉大学 1 号館を会場に 12 月 10 日に開催されました。県内各地から多数の関係者が集まり、学生も加わって活気のある大会となりました。共同主催の埼玉大学の山口宏樹学長が開会の挨拶で「大学の研究と市民の活動との連携促進」を強調されました。

基調講演「自然災害、自然環境、その深いつながり、その中でわれわれはどうすべきか」

自然の生態系の見方について埼玉大学大学院理工学研究科の浅枝隆教授の基調講演がありました。川べりの森や海辺のマンゴーの姿、浮世絵に描かれた昔の大井川の「礫川」の姿と現在の様子など、自然の「維持」と災害とされる「攪乱」の相互作用の姿を、数々の映像で興味深く説明されました。防災、減災と生態系の関係、何が自然で、どの段階の自然生態系を求めるのか、どの段階の防災レベルを求めるのか、十分考える計画が必要と強調されました。

「狭山丘陵など」学生のポスターセッション

2 階、3 階のロビーで、学生のポスターセッションがあり、活発なやり取りで盛り上がりました。「狭山丘陵いきものふれあいの里プロジェクト」の展示は、森の植生やビオトープなど豊富な写真で、狭山丘陵の魅力を生かす工夫が随所に見られました。そのほか、大学院生の現場研修の貴重な発表がありました。

第 1 分科会「遊ぼう！学ぼう！自然再生！」

川島秀雄さんの司会で、「自然再生について」「荒川流域のコウノトリ」「荒川太郎右衛門地区自然再生協議会イベント」の報告と「自然再生の効果的な手法」に関しての討議がありました。

第 2 分科会「フードロスの削減に向けて」

「食べものに、もったいないを、もういちど」を副題に、食品ロス削減とフードバンク運動について報告と討議がありました。

第 3 分科会「エシカルと身近になろう」

「私たちが本当に必要なものとは何かを考える」を副題に、フェアトレードによるエシカルファッションなどの発表がありました。

第 4 分科会「さいたまの生物多様性のいまを考える」

中静透東北大学大学院生命科学研究科教授の基調講演の後、田島ケ原サクラソウとミドリシジミ再生の関係者を迎え討論が深められました。

第 5 分科会「バイオマス利活用による地域分散型エネルギー・地域の自然エネルギー」

捨てられている農林業残渣、下水道の汚泥、食品廃棄物などをバイオマス化する事例の報告で、温暖化防止への展望が語られました。

第 6 分科会「2030 年に向けた家庭の省エネ」

埼玉県の「エコタウン構想」や、住宅メーカーの「省エネ見える化」の取り組みやツールが紹介され、参会者の関心が高まりました。

第 7 分科会「大気汚染と PM2.5 を考える」

「PM2.5 を正しく知ることで見えてくるもの」のサブテーマで、専門の研究者から現状と健康との関係などが報告され、関心の深い問題で活発な質疑応答で盛り上がりました。

第 8 分科会「未来遺産・見沼たんぼ地域から学ぶ～農業および景観の保全とまちづくり」

貴重な景観保持と農業の衰退とまちづくりについて意見交換が行われました。

（武田侃蔵）

仮称「新河岸川広域景観づくりの活動 10 年のあゆみ」発刊へ

2008（平成 20）年 4 月に、埼玉県県土企画室の事業で「新河岸川広域景観づくりプロジェクト」が発足して、今年で 10 年目を迎えました。古くは田園地帯の水利をまかない、江戸時代からは、江戸との舟運で賑わい、川越市から和光市までの流域のまちの発展を支えてきました。

この年の 5 月に和光市で、7 月に志木市で、9 月にふじみ野市でワークショップを開き、12 月に川越市でまとめの会議を開き、翌年 3 月に富士見市で、大会を開き、溝尾良隆さんの基調講演、パネルディスカッション、景観写真の展示と盛り上がりました。

その後、県の所管が田園都市づくり課に移り、サイクリングマップ作成や川沿い歩きなどの事業で、各地域の交流が深まりました。5 年後に県から「新河岸川広域景観づくり連絡会」と民間の運営に任されて活動を発展させてきました。

ここ 3 年は、埼玉県景観審議会委員の岡田智秀日本大学教授の助言を得て、幅広い活動を続けています。この 10 年の歩みをまとめる作業が始まりました。川越の松尾鉄城さんの寄稿に加え、関係環境団体の活動も紹介し、新河岸川でつながるまちづくりの展望が開かれます。

（武田侃蔵）

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

第 9 回理事会が 12 月 21 日（水）14:30-16:30 に出席理事 10 名（＋委任 2 名）にて、それに先立ち第 8 回事業運営委員会（これまで回数を 1 回多く報告していましたが訂正いたします）が同日 13:00-14:30 に出席者 7 名にて、どちらも川越市役所分室 B 会議室において開催されました。主な内容は次のとおりです。

①2 月 25 日（土）にウェスタ川越で開催される第 15 回かわごえ環境フォーラムについて、場所、タイムスケジュール、使用機器、協賛、司会等の主要なキャスティング、ポスターの作成スケジュール（1 月 15 日に配布すべき行事があるので、それまでに作成する）等を確認しました。

午前の部「環境活動報告会」における環境活動報告の応募・入稿状況、編集のスケジュールと担当者について検討しました。1 月 16 日に最終編集を行い、入稿することになります。また、事務局に報告集の見積を依頼しました。

川越市との共催による午後の部「（仮称）川越市環境行動計画策定記念講演会」については、基調講演を行う原村政樹氏との打ち合わせ状況、同計画策定についての講演の役割分担（箕輪理事と小瀬）、パネルディスカッションの方法等について検討しました。詳細な内容は次回の事業運営委員会にて検討します。

フォーラム終了後に、講師を囲んで交流会を開催することにしました。この募集については、本紙に掲載することにしました。

②12 月 28 日（水）から川越市が意見募集を行う「（仮称）川越市環境行動計画（原案）」の内容の最終確認を行いました。

③12 月 23 日（金・祝）に実施した歳末まち美化活動の報告がありました。詳細は、本紙記事をご覧ください。

④川越環境保全連絡業議会主催の 2017 新春講演会（2 月 10 日開催）の後援を承認しました。

（小瀬博之）

社会環境部会

社会環境部会 12 月例会は、12 月 9 日（金）福田ビル 3 階会議室において 7 名の出席のもとに開催されました。

1.報告事項

次の 2 つの事項について報告がありました。

①部会代表から 11 月 30 日（水）の理事会において、来年 2 月 25 日（土）に開催される環境フォーラムに合わせて作成する活動報告書、新しい川越市環境行動計画への対応等について協議した。

②井口さんから 11 月 20 日（日）に実施したエコドライブ教習会について、47 名の参加者があったこと等が報告されました。

2.協議事項

次の各活動について協議しました。

かわごえ環境フォーラムで報告する部会の報告案が板野代表から提示され、意見があれば 12 月 15 日までに提出することとしました。

歳末美化活動について、渡辺さんから活動コースと各コースのリーダー名が紹介され、今後傷害保険の締結と資金カンパを要請することとされました。

代表から 1 月例会に収支の中間報告を行い、次年度の活動予定について意見交換を行いたいとの提案があり、了解されました。

1 月例会の進行は原嶋さん、「わたしのエコ体験」コラムへの投稿は武田さんがあたります。

（社会環境部会　代表：板野徹
司会・進行：武田侃蔵）

自然環境部会

12 月例会は 9 日（金）福田ビル 3 階にて 8 名の参加で開催された

1.活動報告

①「(仮称) 川越市森林公園」計画地定例活動 9:30～12:30

11 月 14 日（月）6 名参加　秋の植物調査、保全活動、11 月 28 日（月）15 名参加　「第 2 ふれあいの森」選択的除伐

②池辺公園定例活動　12 月 6 日（火）　7 名参加　ハグロソウ生育地保全作業

③キノコ勉強会　11 月 21 日（月）「(仮称) 川越市森林公園」計画地　7 名参加

④上戸小学校「わくわくタイム」支援　11 月 25 日（金）東洋大学キャンパス　5 名支援

2.協議事項

①市主催イベント「市民生き物調査会」協力について

②月刊かわごえ環境ネットコラム「川越の自然を訪ねて」の原稿について　アーカイブスを見直すなど検討

③環境フォーラム冊子原稿について　部会関係の原稿確認

（自然環境部会代表　賀登環）

かわごえアジェンダ 21 推進委員会

12 月 7 日（水）13:00-15:00 に（仮称）かわごえアジェンダ 21 作成委員会第 10 回を、委員 3 名と事務局の参加により開催しました。

この段階で作成されていた「(仮称) 川越市環境行動計画(素案)」の内容確認を行いました(最終的には「原案」となりました)。主に環境に配慮した行動チェックシートの内容確認を行い、文言等の修正を行いました。

1 月 13 日（金）に開催される第 11 回において再度（素案）についての最終確認を行い、1 月 25 日（水）の理事会において、計画の組織決定を行う予定です。　（委員長　小瀬博之）

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事

【トピック①】「第 15 回かわごえ環境フォーラム」2 月 25 日（土）開催

2 月 25 日（土）にウェスタ川越において「第 15 回かわごえ環境フォーラム」を開催します。ぜひご参加ください。

【午前の部：環境活動報告会】

この 1 年間に実施された川越市に関する市民・事業者・民間団体・行政の環境活動について、報告集を発行するとともに、一部の内容について発表者がその活動内容を報告します。本会の専門委員会（社会環境部会、自然環境部会）についても活動報告を行います。

日時：2 月 25 日（土）9:30-12:00

場所：南公民館講座室 1・2（川越市新宿町 1-17-17 ウェスタ川越 1 階）

参加：事前予約不要、参加無料、入退場自由

定員：100 名

【午後の部：（仮称）川越市環境行動計画策定記念講演会】

川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ 21」（平成 20 年 1 月）が改訂され、新たな（仮称）川越市環境行動計画が今春策定されます。これを記念してシンポジウムを開催します。

基調講演では、「川越の魅力を知る - 雑木林からの発信」という題目で、2017 年 10 月完成予定の映画「武蔵野」を製作している川越市在住の映画監督、原村政樹氏に講演していただきます。また、新たな（仮称）川越市環境行動計画についての内容の解説並びに講演者を交えたパネルディスカッションを行う予定です。

日時：2 月 25 日（土）13:30-16:30

場所：ウェスタ川越 1 階 多目的ホール C・D

参加：事前予約不要、参加無料

定員：200 名

詳細については、今後、かわごえ環境フォーラム Web サイト（http://forum.kawagoekankyo.net）に掲載します。また、本紙 2 月号にも掲載します。

【トピック②】「（仮称）川越市環境行動計画」（原案）に対する意見募集（1 月 26 日まで）

かわごえ環境ネットでは、第三次川越市環境基本計画における望ましい環境像の実現のため、市民及び事業者、民間団体に属する各自が、取り組むべき具体的な行動をまとめた「（仮称）川越市環境行動計画」策定作業を、川越市との協働により進めています。

このたび、計画の原案に対する意見を川越市が募集します。内容をよくお読みいただいて、ぜひご意見をお寄せください。

募集期間：12 月 28 日（水）から 1 月 26 日（木）まで

問い合わせ：川越市環境政策課環境推進担当（Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800）

詳細や参考資料は、川越市ホームページでご覧いただけます。意見の提出も電子申請で q 行うことができます。下記サイト（QR コード）からアクセスしてください。

https://www.city.kawagoe.saitama.jp/shisei/ikenkobo/ikenkobo_genzai/kankyokodokeikakuH28.html

会合

◆広報委員会（2016 年 12 月度）

日時：1 月 11 日（水）11:30-12:30

場所：ウェスタ川越 2 階市民活動・情報コーナー（川越市新宿町 1-17-17）

＊次回は 2 月 8 日（水）9:00-10:00 同所

◆（仮称）かわごえアジェンダ 21 作成委員会（第 11 回）

日時：1 月 13 日（金）9:30-11:30

場所：川越市役所地階修養室（川越市元町 1-3-1）

●社会環境部会（2016 年 12 月度）

日時：1 月 13 日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル 3 階会議室

●自然環境部会（2016 年 12 月度）

日時：1 月 13 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊両部会とも会員はどなたでも参加できます。

＊両部会は、毎月第 2 金曜日 13:00-15:00, 15:00-17:00 連続開催（次回は 2 月 10 日（金）同所）

◆事業運営委員会（2016 年度第 10 回）

日時：1 月 25 日（水）13:00-14:30

場所：川越市役所地階修養室

＊次回は 2 月 15 日（水）13:00-14:30、川越市役所分室 3 階 B 会議室

◆理事会（2016 年度第 10 回）

日時：1 月 25 日（水）14:30-16:00

場所：川越市役所地階修養室

＊次回は 2 月 15 日（水）14:30-16:00、川越市役所分室 3 階 B 会議室

自然環境部会主催事業

★「（仮称）川越市森林公園」計画地 植物調査・保全作業　毎月第 2、第 4 月曜日

日時：1 月 23 日・2 月 13 日・2 月 27 日（月）（1 月 9 日は休止）

集合：9:30 川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

★池辺公園定例活動

日時：1 月 10 日・2 月 7 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：菅野

★キノコ学習会

日時：1 月 20 日（金）9:30-12:30

場所：南文化会館（ジョイフル）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

◎森林公園かんさつ会（公園と考える会共催）

日時：1 月 15 日（日）9:50-15:30 ごろ

集合時間・場所：9:50 国営武蔵丘陵森林公園（埼玉県比企郡滑川町山田 1920）南口（入園前受付）

雨天決行（雨具持参）、入園料要、参加費無料、昼食持参（園内レストランもあります）

今年も、安西英明さん（日本野鳥の会主席研究員）の楽しいお話をお聞きしながら、園内に拡がる雑木林で冬越しに訪れたカモ類やルリビタキ、冬越しの昆虫などを観察します。

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

日時：1 月 14 日・2 月 11 日（土）9:30～12:30

場所：明見院（今福 677）近く

内容：農作業（B 級品のお土産付き）

会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

2016 年度予定表

月	日	活動内容予定
1	14	雑木林の手入れ 焼き芋
2	11	同上
3	11	同上　あそぼうパン、スープ

みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 担当：佐藤（Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪

田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◎農作業　金曜日の午前中（10:00-12:00）

日時：1 月 20 日・27 日（金）10:00-12:00

地域交流センターに集合。農作業は近隣の田んぼです。

◎月例会

日時：1 月 13 日（金）10:00-12:00

場所：地域交流センターホール

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-234-5269）

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きものの賑わいを取り戻す活動を行っています。

◎例会

日時：1 月 26 日（土）16:00-18:00

場所：名細公民館（川越市大字小堤 662-1）

無農薬の稲作りに興味のある方、生きものに興味のある方など、広く意見を求めるために会員でない方の参加も歓迎します。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel＆Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 木曜日

日時：1 月 3 日（火）・19 日（木）・2 月 7 日（火）・16 日（木）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：1 月 8 日・2 月 12 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第 4 土曜日

日時：1 月 28 日・2 月 25 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9 時より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田（090-2521-5770）へご連絡ください。

①1 月 22 日（日）9:00-11:00

新河岸川起点から濯紫公園まで。新年の赤間川清掃。月吉陸橋下から三日月橋、赤間川公園から濯紫公園までは、川中を清掃。上下流で分担。2 か所で分別収集して解散。多数参加希望。

②2 月 26 日（日）9:00-11:00

新赤間川の杉下橋から琵琶橋まで。川の中や土手など清掃、美化のため多数参加を。分別して、オアシス裏に集め解散。

東洋大学小瀬研究室（こもれびの森・里山支援隊）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: komorebisatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-239-1532）

定常的に参加していただける方、ご近所の方、大歓迎です。初めての方もぜひご参加ください。

◎こもれびの森・里山支援隊 森林整備施業

日時・1 月 7 日（土）・28 日（土）、2 月 4 日（土）・19 日（日）8:30 集合-12:00、12:45-15:00（解散 16:00）（荒天中止）

集合場所：東洋大学川越キャンパス 4 号館こもれびの道側入口（川越市鯨井 2100）

費用：無料

内容：手鋸、剪定鋏等を用いた小径木の下刈り、伐採、毎木調査（1 月 7 日）。

持ち物：汚れてもよい服装（長袖、長ズボン）、靴、手袋（軍手等）、手ぬぐい・バンダナ（ヘルメットの下に身に付けます）、タオル、飲み物、弁当など、あれば自前の道具（手鋸、剪定バサミ）

申込・問い合わせ：開催日 2 日前までにご連絡

＊開催案内ブログ：こもれびの森・里山支援隊（http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/）

＊中止の場合 Twitter で開催当日 6:30 ごろ通知（https://twitter.com/toyokomorebi/）

＊報告 Facebook（https://www.facebook.com/komorebisatoyama/）

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

◎伊佐沼でバードウオッチング

（毎月第 2 日曜日、小雨決行）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物・帽子・防寒衣

参加費：一般 300 円、高校生以下 100 円（保険代・資料代）

解散：集合場所にて 12:00 ごろ

①1 月 8 日（日）10:00-12:00

県下一斉にガン、カモの調査をします。参加者の皆さんで数えます。今年は例年より多くの種類、数が期待されます。パンダのようなミコアイサも期待できます。寒さに負けずに参加してください。

②12 月 11 日（日）10:00-12:00

沼は全面氷結しています。カモたちは氷の上で休んでいます。繁殖地に帰る前に、相手を決めて 2 羽で行動をしています。林の木は葉を落として小鳥たちを探しやすくなっています。冬鳥たちに会えるのもあとわずかです。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2017 年 2 月号（No.124，2 月 1 日ごろ発行予定）の掲載原稿は、1 月 15 日（日）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要ですので、未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（1 月 1 日～3 月 1 日）

日	月	火	水	木	金	土
1/1 元日	1/2	1/3 ◎13:30 まち美化啓発運動	1/4	1/5	1/6	1/7 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森）
1/8 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング ◎11:00 成人式会場クリーン活動	1/9 成人の日	1/10 ★9:00 池辺公園定例活動	1/11 ◆11:30 広報委員会	1/12	1/13 ◆9:30 かわごえアジェンダ 21 作成委員会 ◎10:00 月例会（みなみかぜ） ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	1/14 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
1/15 ◎9:50 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 〇本紙 2 月号投稿期限	1/16	1/17	1/18	1/19 ◎13:30 まち美化啓発運動	1/20 ★9:30 キノコ学習会 ◎10:00 農作業（みなみかぜ）	1/21
1/22 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	1/23 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	1/24	1/25 ◆13:00 事業運営委員会 ◆14:30 理事会	1/26 〇「（仮称）川越市環境行動計画」（原案）に対する意見募集締切	1/27 ◎10:00 農作業（みなみかぜ）	1/28 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森） ◎13:30 まち美化啓発活動 ◎16:00 例会（かわごえ里山イニシアチブ）
1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森）
2/5	2/6	2/7 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	2/8 ◆9:00 広報委員会	2/9	2/10 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	2/11 建国記念の日 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
2/12 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	2/13 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	2/14	2/15 ◆13:00 事業運営委員会 ◆14:30 理事会 〇本紙 3 月号投稿期限	2/16 ◎13:30 まち美化啓発運動	2/17	2/18
2/19 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森）	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25 ★9:30 かわごえ環境フォーラム ◎13:30 まち美化啓発活動
2/26 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	2/27 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	2/28	3/1	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください		

月刊 かわごえ環境ネット 2017 年 1 月号 No.123

発行日　2017 年 1 月 1 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/